

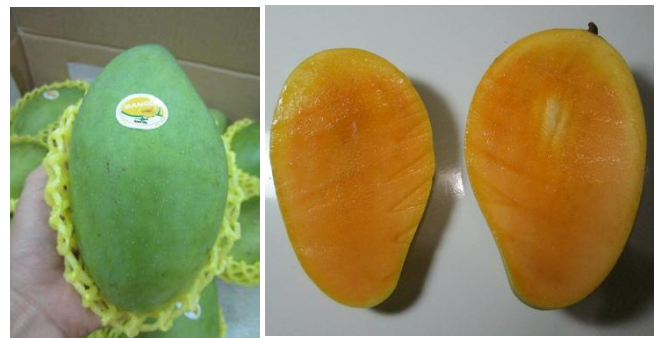
各 位

会社名：株式会社 G-7 ホールディングス
代表者 代表取締役会長 木下 守
(コード：7508、東証第 1 部)
(電話番号：総務部広報 078-797-7700)

日本に初上陸、ベトナム産マンゴーを輸入・販売

～高需要期の安定供給を目指し、ベトナム産の糖度の高いマンゴーを日本の食卓にお届け～

東証一部上場の株式会社 G-7 ホールディングス(証券コード 7508)のグループ会社である株式会社 G7 ジャパンフードサービス(神戸市須磨区、代表取締役社長:春名直幸、以下 G7 ジャパンフードサービス)は、日本で初めてベトナム産マンゴーの輸入を開始します。また、G-7 ホールディングスのグループである農産物直売所「めぐみの郷」の店舗や食品スーパーで販売を開始し、大手小売店にも卸す予定です。



▲ベトナム産マンゴー「Cat Chu 種」

マンゴーは、βカロテンの量が多く細胞の老化を抑える抗酸化作用があるので肌の健康維持やがん予防に効果が期待でき、近年日本では「マンゴーブーム」と言われフルーツの中でもマンゴーの人気は高く、様々なスイーツにも利用されるなど需要が高まっています。その一方、国産のマンゴーは生産量に限りがある為価格が高く、マンゴーの輸入量も近年減少傾向になってきており、日常的にマンゴーを食卓で口にするには難しくなっております。そこで、安全で安心な糖度の高い高品質なマンゴーを少しでも多く日本の食卓にお届けするために日本で初めてベトナムからマンゴーを輸入することにいたしました。

マンゴーの主な輸入国(2013年)は、1位メキシコ【3,569トン】、2位フィリピン【1,733トン】、3位タイ【1,309トン】、4位台湾【805トン】となっています。(参考：2013年農林水産省統計)

輸入するベトナム産マンゴーは、CatChu種という品種でベトナム南部のメコンデルタ地方にある Dong Thap 省の契約農園で栽培されております。ベトナムメコン地方の広い大地と灼熱の太陽の恵みをうけた、おいしさ溢れるマンゴーは、味は濃厚と甘く芳醇な香りが特徴で、色は熟すと緑色から黄色に変わり、湾曲した涙のような形をしています。重さは平均して 300～400g で糖度は 20 度前後あり、沖縄産のアップルマンゴーでも平均 12～15 度に比べると非常に甘みのあるマンゴーとなっております。品質に関しても、GAP(農業生産工程管理)を保持しており、日本向け品質基準にあわせ、農薬や肥料などの管理徹底を図っており安全、安心、高品質なマンゴーを出荷しております。

また、検疫は農業的大害虫のミバエ除去の為、純日本製の VHT(モジュール型蒸熱処理機器)にて蒸熱消毒処理を徹底しており輸入が可能となっております。

味、糖度、品質だけではなく、年間を通して集荷可能で輸入の単価(kg)も安価であり消費者の方々にもお求め安い価格帯で販売できる予定です。

G7 ジャパンフードサービスは、日本で初めての出荷は 10 月下旬の予定で、年間を通して輸入を予定しております。



●(株)G7 ジャパンフードサービス会社概要

(1) 名 称	株式会社 G7 ジャパンフードサービス
(2) 所 在 地	神戸市須磨区弥栄台 5 丁目 19 番 2 (登記)
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 春名直幸
(4) 事 業 内 容	食品の卸売販売、冷凍食品全般製造、加工食品の企画・開発・製造、 海外輸出入事業、レストラン事業
(5) 資 本 金	1 千万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 26 年 (2014 年) 10 月 10 日
(7) W e b サ イ ト	http://www.g7japanfoodservice.co.jp

【本リリースのお問合せ先】

株式会社 G-7 ホールディングス 神戸市須磨区弥栄台 3 丁目 1-6
総務部・広報担当 TEL:078-797-7700

以上